

序論)

私にとってこの夏は、日高バイブルキャンプがあったり、教団の青年宣教大会フロンティアがあったりして、非常に盛りだくさんな夏でした。このようなイベントがあるとき、それらのイベントを安心して楽しむために重要なものとはなんでしょうか？

それはプログラムです。いつどこでどんな集会があつて、いつどこで食事をする事ができて、自由行動はいつすることができるのか。こういったプログラムを正しく把握しているか、把握していないかによって、余裕を持って行動できるかどうかにかかわってくると思います。そして、余裕を持って行動ができると、一つ一つのプログラムを十分に満喫することができます。

だから、こういった行事があるとき、その行事がどのようなプログラムで動いているのかを把握することはとっても大切です。

私達、キリスト者にとっても、必ず把握しておくべきプログラムがあります。それはどんなプログラムかという、神様の救いのプログラム。神様の救いのご計画です。私達が神様の救いのご計画を正しく理解するのならば、私達は異端や新興宗教などの間違った教えのところにはいかなくてよくなるし、何よりも神様の救いの恵みを心から喜ぶことができます。

今日は、イザヤ書にかかっている預言を通して、神様の救いのご計画を理解していきましょう。

1) 軽んじられたキリストを王とされる

今日の箇所から教えられる神様の計画の一つ目は、【主】は「軽んじられたキリストを王とされる」ということです。7節を読んでみましょう。

49:7 イスラエルを贖う方、その聖なる方、【主】は、人に蔑まれている者、国民に忌み嫌われている者に、支配者たちの奴隷に向かってこう言われる。「王たちは見て立ち上がり、首長たちもひれ伏す。真実である【主】、あなたを選んだイスラエルの聖なる者のゆえに。」

7節で語られているのは誰の言葉かと言うと「イスラエルを贖う方」であり、「その聖なる方」【主】です。この主は、括弧付きの主となっていますから、御主人様という意味の主ではなくって、イスラエルを救い出す【主】であり、救いの契約を結

ばれる【主】です。

その【主】が誰に向かって語っておられるかという、「人に蔑まれている者」、「国民に忌み嫌われている者」、「支配者たちの奴隷になっている者」に対してです。これはですね。イスラエルの歴史から考えると、バビロンに捕らえられているイスラエル人たちのことではないか。という理解の仕方もあるのですが、元のヘブル語を見てみると、これらの言葉は単数形で書かれているので、イスラエル民族の多くの人たちというよりは、ある特定の一人の人物を指していると理解することができます。では、そのある特定の一人の人物とは誰かという、私達の救い主、【主】イエスキリストです。

キリストは、私達を救うために人々から蔑まれ、忌み嫌われ、そして、支配者たちの奴隷のような状態に置かれました。それがあの十字架につけられたキリストです。

イスラエルを救い出し、救いの契約を結ばれる【主】なる神様は、人々から軽んじられ十字架の苦しみをお受けになるキリストに向かって言われるのです。なんて言われるか、括弧の中を読みましょう。

「王たちは見て立ち上がり、首長たちもひれ伏す。真実である【主】、あなたを選んだイスラエルの聖なる者のゆえに。」

つまり、どうゆうことかというイエス様は十字架によって人々に軽んじられ、苦しめられます。でも、【主】なる神様はそのキリストの立場を逆転させて、かえってこの世の王たち、首長たちがひれ伏して、礼拝する存在にするのだ。とそういわれています。「王たちは見て立ち上がり」っていうのは、王たちが自分の持っている権威を捨てて、キリストの前でもべの立場を取ることを意味しています。

みなさんも、映画とかドラマで王様への謁見の場面で、王様が王座に偉そうに座っているのを見たことがあると思います。ああゆう場面で、王座に偉そうに座っていることができるのは王様だけです。だから、神様がキリストを王としてお立てになるとき、この世の王たちは王様としての権威を失いますから、座ってないで立たなければいけないのです。そして、たった後は本当の王様の前にひれ伏して礼拝するのです。

神様は、この世の人たちに軽んじられたキリストを、すべての人が膝をかがめて

拝むべき、まことの王としてお立てになる。という計画を持っておられます。

だから、私達がキリストに対してどのような姿勢をするべきかという、偉そうにふんぞり返って座っている態度でしょうか、いいえ、ひれ伏してしもべとして、このお方を伏し拝む。そのような姿勢を持つべきなのです。

2) 復活のキリストを神様の救いの約束そのものにする

次に神様のご計画の2つ目は何かというと、「復活のキリストを神様の救いの約束そのものにする」ということです。8節の前半を読んでみましょう。

49:8a 【主】はこう言われる。「恵みの時に、わたしはあなたに答え、救いの日に、わたしはあなたを助ける。わたしはあなたを見守り、あなたを民の契約とし、

神様がキリストに答え、助け、見守ると言われています。これは何かというと、人々に軽んじられて十字架にかけられたキリストを復活させて、よみがえらせる。

ということです。事実、イエス様は十字架の後、復活をされましたよね。

そして、あのイエス・キリストの復活はなにかというと、神様が罪に死んだ人々を赦して救われるという。神様の救いの契約そのものなのです。だから、ローマ10章9節にはこのように書かれています。

ローマ人への手紙 10:9

なぜなら、もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われるからです。

「神はイエスを死者の中からよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われる」これはまさに復活のキリストが、神様の救いの契約となっていることを示すみことばです。

神様の救いの計画のその2は、復活のキリストを【主】の救いの契約とすることなのです。だから、私達が救われたいと思うのならば、神様がキリストを蘇らせたということ信じなければいけないのです。

3) 救いの契約の内容

神様は、キリストを救いの契約にされました。契約というのは、要は約束ですよ。このキリストという契約の中にはどんな約束が込められているのでしょうか。

それが書かれているのが 8 節の後半から 10 節です。長いので順番にみていきましょう。まずは 8 節後半

49:8b 国を復興して、荒れ果てたゆずりの地を受け継がせる。

ここには①神の国の復興と②神の国の相続。この 2 つの約束があります。次に 9 節の前半

49:9a わたしは捕らわれ人には『出よ』と言ひ、闇の中にいる者には『姿を現せ』と言う。

「捕らわれ人には『出よ』」というのは、罪人のサタンからの解放であり、「闇の中にいる者には『姿を現せ』」というのは、暗闇に囚われていた私達が、本来の神の子としての姿を現すことができるようになる。ということです。

そして、9 節後半と 10 節には

49:9b 彼らは道すがら羊を飼ひ、裸の丘のいたるところが彼らの牧場となる。

49:10 彼らは飢えず、渴かず、炎熱も太陽も彼らを打たない。彼らをあわれむ者が彼らを導き、湧き出る水のほとりに連れて行くからだ。

つまり、【主】が神の民の生きる糧を与えられるということです。

これは物理的に食べ物が与えられると信じてもいいと思いますが、やっぱりそれより重要なのが、神の子として生きるための霊の糧、キリストといういのちの水であり、生けるパンが与えられるということです。

神様は、その救いのご計画の中に、私達が神の子として霊的に飢えず、渴かず、満たされて行きていくためのいのちのパンを与えてくださる。という約束をいれてくださっているのです。だから、私達はキリストから本当のいのちを受け取って、イキイキと行きていくことができるのです。

神様の救いの契約の内容をもう一度整理します。

8 節後半から 10 節にかかっている神様の救いの契約の内容は、

神様はキリストによって①神の国の復興をしてくださり、その神の国を②私達に相続させてくださいます。そして、③私達を罪やサタンから解放してくださり、④私

達の神の子としての本来の姿を回復させてくださるのです。そして、回復だけでなく、実際に神の子として満たされて生きていくためのいのちのパンをくださいます。

4) 民を呼び集める

そして、神様のご計画はこれだけで終わりません。最後、神様はどのようにいわれているかということ、11節と12節

49:11 わたしは、わたしの山々をすべて道とし、わたしの大路を高くする。

49:12 見よ。ある者は遠くから来る。見よ。ある者は北から西から、また、ある者はシニムの地から来る。」

「シニム」というのがどこを指しているのかは不明です。シナ・・・つまり、中国のことを指しているという人もいれば、エジプトの南側の地域のことを指しているという人もいます。ただ、このみことばがいたいのは、特定の地域から人がくるとのことよりは、世界中のあらゆるところから神の民が呼び集められることと、そのための道を神様がつくってくださる。ということです。

アッシリアやバビロンによってイスラエルがバラバラにされてしまったように、今現在、神の民も世界中にバラバラに散らばっています。

でも、神様は最終的にその散らばっている神の民を全部集めて、ご自分のもとに集わせてくださるのです。

これは「新しい天と新しい地が与えられて、神の国が完成すること」も、神様のご計画の中に含まれていることを意味しています。

みなさん、【主】は神の国をキリストによって立て直し、最終的には素晴らしい神の国を完成させてくださるのです。これが神様の救いのご計画です。

5) 世界中を歓喜で満たす

だから、私達はどうすべきでしょうか？ 13節

49:13 天よ、喜びの声をあげよ。地よ、小躍りせよ。山々よ、歓喜の声をあげよ。

【主】がご自分の民を慰め、その苦しむ者をあわれまれるからだ。

神様の救いのご計画を知った時、私達はここから【主】を賛美し、喜ぶのです。だから、喜びの賛美をするということはとっても大切なのです。

結論)

今日、私達は神様の救いのご計画を学びました。その救いのご計画とは

- ① 神様は軽んじられたキリストを真の王としてお立てになります
- ② 復活のキリストを通して、神様の救いの約束が実現されます
- ③ この救いの契約には、神の国の復興と相続、罪からの解放、本来の姿の回復、霊的な糧の提供が含まれています
- ④ 神様は散らばった神の民を世界中から呼び集め、最終的に神の国を完成させてくださいます

これらの計画を知った私たちは、どのように応答すべきでしょうか。

パウロはこの神様のご計画を覚えてこのようにいっています。

コリント人への手紙 第二 6章1節から2節

6:1 私たちは神とともに働く者として、あなたがたに勧めます。神の恵みを無駄に受けないようにしてください。

6:2 神は言われます。「恵みの時に、わたしはあなたに答え、救いの日に、あなたを助ける。」見よ、今は恵みの時、今は救いの日です。

今は恵みの時、今は救いの日です。だから、私達はこの神様の救いが無駄にならないように、この計画に沿って歩むことが大切なのです。

まず、キリストに対して謙虚な姿勢で、このお方を真の王として礼拝しましょう。

また、キリストの復活を信じ、その信仰によって救いにあずかりましょう。

そして、神様が与えてくださる霊的な糧を日々いただき、神の子として御言葉を実践する歩みをしましょう。

最後に、13節「天よ、喜びの声をあげよ。地よ、小躍りせよ。山々よ、歓喜の声をあげよ」とあるように、全身全霊で神様を褒めたたえましょう。

それこそ、神様の救いの計画に預かった私達の生きる道ではないでしょうか。

お祈りをいたします。